授業科目	公衆衛生看護学実習					実務家教員担当科目	-
単位	5	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年
担当教員	布花原　明子、伊藤　直子、鹿毛　美香						
授業概要	本実習は、行政領域の保健師活動を通して、地域で生活する個人・家族及び集団が、より豊かな人生を実現するために、社会の変化をとらえながら、行政・企業において保健師活動経験を有する実務者教員の指導の下、公衆衛生看護の展開を学ぶ。						
授業形態	実習				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	行政保健師として下の１～６について主体的に実習することができる。 １．予防的視点から地域の健康課題を明らかにできる。 ２．地域の健康課題に対する公衆衛生看護活動計画を説明できる。 ３．地域の健康課題の解決に向けて、地域住民、関係者及び関係機関と協働して、公衆衛生看護活動を展開できる。 ４．健康危機管理における組織的な管理体制を理解し、地域ケアシステム構築の必要性を説明できる。 ５．公衆衛生看護管理の機能を説明できる。 ６．行政領域での倫理的な問題と対応の実際を理解し、自らも倫理的に行動できる。
理想的レベル	標準的レベルを加えて、保健医療福祉の知識・技術や人々の健康に関わる社会情勢を積極的に学び、保健師のあるべき姿を具体的に展望できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	60%	公衆衛生看護技術項目の達成度及び関心・意欲・態度は、実習指導者と協議し評価する

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31709J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
実習記録の作成に加え、実習で示された学習課題に取り組む。	0

授業計画	
第１回	実習５週間では、県型保健所・市町村グループと、政令市グループに分かれ実習を行います。 具体的な方法及び実習内容については、「2024 年度　公衆衛生看護学実習要項」で説明する。
テキスト	特に指定なし

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・公衆衛生看護関係科目担当教員の指定図書 ・保健師関連雑誌 　保健師ジャーナル 　地域保健 　公衆衛生情報 　保健の科学
課題に対するフィードバックの方法	個別・グループの課題は、その成果を確認し、個人またはグループに、口頭または記録用紙等にコメントをつけて返却する。
学生へのメッセージ・コメント	公衆衛生看護学実習では、個人・家族、集団、地域全体を対象に、公衆衛生看護の展開を実践的に修得します。実習施設で実施されている事業に参加し住民の方々や関係職種、地域組織等、多くの人々と接しますので、自分から積極的に関わって行動できることを期待します。そのためには、保健師を目指す学生として、公衆衛生看護の視点で日々の実習目標を設定し、実習目標を達成するためにどう行動したらいいのかを自分で考えてください。将来、保健師としての活動を目標とする学生は、理想的レベルの達成を期待します。 また、実習グループメンバーとの協働作業の時間が多く、協力関係を形成し効果的に実習を深められるよう努めていきましょう。